



直方市議会議員 やすなが浩之 市政レポート

スピード
誠意あり

《2022年1月号》

トップニュース

中学校給食が食缶方式の全員喫食へ

令和2年10月の保護者アンケートの結果、「全員給食がいい」と回答された方は65.08%を占め、「選択制がいい」と回答された方は31.71%に留まりました。これを受け、令和4年2学期から、中学校給食が全員喫食に変更されることとなりました。なお、提供方式も食缶デリバリー方式となります。（現在の「選択制」から小学校と同じように「全員」に変更し、おかずごとに食缶に入れて調理場から配達します。）

《現状の中学校給食との違い》

- ・弁当箱方式ではできなかった献立ができるようになります。
- ・料理ごとに適切な温度で提供されます。
- ・調理業者に配膳業務がないため、調理後から喫食までの時間が短くなります。
- ・生徒一人ひとりにあわせた食事量の調整が可能になります。
- ・これまでのお弁当箱はなくなり、新しい食器や食缶になります。
- ・「はし」「ランチマット」の持参が必要です。（忘れた際の予備の「はし」は準備します）
- ・市内小学校と同様のアレルギー対応（除去食）を行います。
- ・市内小学校と同様にアレルギー等の場合を除き、飲用牛乳の除去はできません。

※写真はイメージです。



直方市のホームページ上に詳細な内容をQ&A方式で掲載していますのでご確認ください。また、オンライン説明会を開催しています。質問等ありましたら、電話及び市ホームページの問い合わせフォームにてお気軽にお尋ねください。

■掲載場所：トップページ→教育・文化→学校→学校給食
→中学校給食→中学校給食実施方針

■お問い合わせ
直方市教育委員会教育総務課
電話 0949-25-2321

詳しくは
こちら→



■一般質問 令和3年6月定例会～同12月定例会 【スケートボードの利用施設整備について】

継続
対応

質
問

スケートボード競技は、東京オリンピックにおいて、金3つ、銀1つ、銅1つという素晴らしい成績を挙げました。当時の菅総理も一番気に入った競技にスケートボードを挙げており、パリオリンピックへスケートボードの採用も正式決定しています。今後、スケートボード人気は加速度的に上がると予想されており、同競技の利用が解禁される公園も増えるのではとの報道もなされています。3回の議会を通じて、スケートボードの利用施設整備および本市における任意団体構築について、質問・意見提起を行いました。

答
弁

本市におけるスケートボード利用可能な場所として、舗装、インターロッキングを有し騒音問題のない施設として市の管理している公園では、遠賀川河川敷公園のハローワーク下駐車場の一部を使用申請し、安全を確保した上で利用することは可能だと思われま。スケートボード利用に適した施設の整備に関しては、スケートボードの団体が組織された後に、その団体を窓口として様々な内容について話し合いながら、実現可能性を検討していきたいと考えております。任意団体に関しては、11月13日に初回の意見交換会を行った後、11月26日には近隣市でスケートボード場を管理運営されている方々のアドバイスを受ける機会を持ちました。筑豊地域での団体設立に向けた動きもあることから、周辺地域での取り組みを注視しながら、関係者の方々の協議を継続していきます。

■議案質疑 令和3年12月定例会 【新型コロナウイルスワクチン接種対策費】

対応中

質
疑

3回目のワクチン接種を目的とし、約1億5千万円の補正予算が提案されていますが、優先接種の対象者や年齢別の接種スケジュールはどのようになっているのか、また、現時点において、国や県と比較し、本市の接種率がどのように推移しているのかについて質疑を行いました。

答
弁

1月に入り医療関係者、2月初旬から高齢者施設、2月中旬より一般の高齢者へと移行していく予定です。一般の接種については、集団接種及び個別接種併用で対応していく予定で調整しております。一般的に、一番が医療従事者、次に高齢者施設関係、一般の高齢者、順次年代が下がり18歳までと1～2回目の接種が早かった順となります。また、12/1時点での本市の接種率は74.8%となっており、全国の接種率が76.9%、福岡県が75.2%であることから、全体と比較した際の接種率は若干下回るものの、ほぼ同程度の接種率となっています。

発行人：直方市議会議員 安永 浩之

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住所：直方市知古1丁目6番1号

メール：info@h-yasunaga.jp

電話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之

検索



ブログ



Facebook



LINE

やすなが浩之【4つの重点政策】

地域・産業

◆IT事業者誘致補助事業

直方市内の事業者のデジタルトランスフォーメーションを後押しするため、また、直方市における新たな産業とするために、中心市街地へIT事業者の誘致を目指しています。令和3年までに、合計7社の事業者誘致が実現しました。

◆九州大学グローバルイノベーションセンターと連携協定を締結

持続的な行政サービスの実現、福祉の充実、産業の振興、学術研究に寄与するとともに、地域創生を含めた持続可能な社会の実現に向け、連携協定を締結しました。

◆中心市街地賑わいづくり推進業務委託料

株式会社まちづくり直方に委託をして商店街空き店舗の利活用や人材育成を行うと共に、中心市街地に子育て支援センターを誘導するための基本設計及び実施設計に取り組んでいます。

◆プレミアム商品券事業費補助金

消費需要喚起を目的としたプレミアム率20%を上乗せした地域商品券を発行する事業を行いました。

医療・福祉

◆ワンヘルス推進宣言

県が「人と動物の健康、環境の保全は一体」として令和3年1月に施行した「ワンヘルス推進基本条例」に基づく取り組みに連携協力し、市民への周知や理解促進に努めるとする「ワンヘルス推進宣言」を行いました。

◆保健福祉センター基本設計業務委託

中央公民館周辺に建設する方針となった保健福祉センターの基本設計業務を今年度委託しました。来年度に国の補助申請、令和5年度に実施設計を行い、令和7年度中の完成を予定しています。

◆保育環境改善、保育業務効率化の推進

保育士の業務軽減と保育士の離職防止のために、午睡時の児童の事故防止のための装置を認可保育所及び認定こども園が導入した場合の補助金やICT技術を活用して保護者と保育園児との連絡や登園状況を把握するなどのシステム導入費用の補助金を交付しています。



皆様にお約束した政策に関して

本市の状況を報告します!

教育・文化

◆思いを継ぐ 石炭記念館開館50周年

令和3年7月18日、直方市石炭記念館が開館50周年を迎え、記念祝賀会が開催されました。同館は明治以降の日本の近代化と戦後の復興を支えた先人の熱い思いが集まり昭和46年7月20日に開館しました。敷地内には日本初の救護練習所模擬坑道が造られ、実践さながらの救護練習を通して、数多くの救護隊員を養成しました。平成30年には本館と救護練習所模擬坑道は、「筑豊炭田遺跡群」として、三井田川鉱業所伊田坑跡(田川市)、目尾炭坑跡(飯塚市)とともに国指定史跡となっています。

◆徹底反復学習事業の実施

「早寝早起き朝ごはん」を大切にして生活のリズムを整えたいと、音読や計算、漢字などの基礎学習を徹底的に反復する学習である陰山メソッドを取り入れた取り組みを実施しています。

◆フィルタリングソフト設定

小中学校の児童生徒一人一人に貸与しているタブレット型端末に関して、学校と家庭をつなぐオンライン学習の実施に備えた不適切アクセス等の制限ソフトを設定しました。



防災・減災

◆直方市防災ブック配布

災害時に市民の皆さんが安全で的確に避難が行えるよう作成した、災害予測図を市内全戸に配布しました。主に浸水予測や、大雨などに伴う土砂災害等について記載しています。

◆IoT遠隔樋門制御に関する共同研究開発の連携協定を締結

アドバンテックテクノロジーズ株式会社と一級河川である「遠賀川」の周辺に設置されている多数の樋門をIoT技術を活用し、遠隔で管理するシステムの研究開発に関する連携協定を締結しました。

◆川端川治水計画策定業務

市管理区間について、中泉工業団地方面や不燃物中継所方面など、複数の支川からの流れ込みがあり、速やかに県管理河川へ流下させるために、県改修事業と連続した河川計画及び流域内の課題を整理し水路改修や調整池などの洪水調整施設の検討を行い計画を策定しています。

◆学校体育館照明LED化

令和3年4月、市内小学校体育館において老朽化した照明から出火する事案が発生したことから、危険性が高いと判断される4小学校の体育館の照明器具を更新しました。

⑩【直方市の大型事業】直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

【今後、実施予定の事業】

①(仮称)直方市保健福祉センターの建設

平成30年に策定した公共施設等個別施設計画(複合化検討編)においては、複数の公共施設を中央公民館周辺へ集約する方針でしたが、まちづくりの観点から「直方駅周辺」と「中央公民館周辺の分離案」を採用することとしました。(仮称)直方市保健福祉センターは、多くの駐車台数が見込まれることから、中央公民館周辺に建設する方針となりました。

②公営住宅建替事業

財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。

③直方市庁舎の改修事業

昨年度、電気・空調設備の機器更新を行いました。今後も、平成25年度に作成した長寿命化計画に基づき順次改修を進めていきます。

④芝原ポンプ場整備事業

築52年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や排水路等の整備計画の見直しを検討し、中心市街地の雨水浸水対策を行います。

⑤直方・鞍手新産業団地の造成

市の長年の計画であった植木地区の産業団地計画について、データセンターなどの誘致を目指し、県と鞍手町とともに造成事業を行うこととなりました。

⑥天神橋架け替え

築約85年が経過し老朽化が激しく、交通渋滞も頻繁に発生していることから、早期の架け替えが必要な橋梁です。現在、県が架け替えの計画を行っています。

